学校番号	１００１

令和３年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	2	第３学年	FLEX Ⅱ ENGLISH COMMUNICATION

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、ペアワークを取り入れながら、読む・聞く・書く・話すの4技能をアクティブに更に伸ばすことを目標とする。聞いたり読んだりした内容を基に、正確な英文を用いて大意をつかんだり、情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行う。積極的な授業参加が求められる。

・英文を読んでいく上で不可欠な語彙力や文法力については、実際に英文を書いたり、英語で発表するということを意識して学習し、自分で使える英語を身につけていく必要がある。常に「英語を使う」ことを意識した姿勢が大切である。

・音読は、リズムや発音・アクセントに気をつけて、読み、話す力をつけるだけでなく、同時に聞くことにも注意を向けて練習することによって、全般的な英語力がつく大切な学習法の一つである。意味を考えながら読み、聞いている人にきちんと伝わるように心がける必要がある。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：コミュニケーション英語Ⅱ（２単位）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・リズムやイントネーションなど、英語の音声的な特徴に注意して話すことができる。 ・自分が経験したことや将来の夢・希望について、前もって準備したメモを見ながら発表できる。また、相手の情報を得る簡単な質問ができるようになる。 ・身近なトピック(時事的なこと等)について短い英文で自分の意見を言えるようになる。	コミュ英語Ⅱ ・Ｑ＆Ａ ・インタビューテスト スクリーン ・発音練習 ・ロール・プレイ 実用 ・対話練習	・簡単な日本語の文を正しい英語で表現することができる。更に、身近な話題に関する自分の考えを、基礎的な単語・イディオム・つなぎ言葉を用いて複数の文で表現できる。	コミュ英語Ⅱ ・定期考査 ・副教材による課題 英文法 ・定期考査 ・小テスト 留学 ・定期考査 ・探求課題	・はっきりと話されれば、身近なトピックについて短いニュースの要点を聞き取ることができる。 ・はっきりと話される説明やガイドなどのアナウンスを聞いて、いくつかの情報を聞き取ることができる。	コミュ英語Ⅱ ・Ｑ＆Ａ ・Dictation Quiz ・リスニングテスト リスニング・実用 ・定期考査 ・リスニング演習 ・リスニングテスト	・難しい部分を読み返すなどしながら、よく知っている分野の説明書や記事などを詳しく理解することができる。 ・小説などを読み、背景を踏まえ事実関係だけではなく、登場人物の気持ちなどを把握し、気持ちに応じて適切な速度や声の調子で音読することができる。	コミュ英語Ⅱ ・定期考査 ・副教材による課題 読解 ・定期考査 ・副教材による課題 留学 ・定期考査 ・資料調査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに興味関心を持ち、積極的に言語活動を行おうとしているかどうかを、質疑応答方法や多様な表現の違いを学ぶ姿勢等にて評価。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語表現と日本語表現の違いを学ぼうとする向上心や、その変換作業を身につけようとする意欲、また、その違いの文化的背景などを理解しようとする姿勢を評価。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 More than just Shelters （6時間）	・坂の建築家としてのポリシーを読みとらせる。 ・緊急避難施設の建設に段ボールの紙管を使う理由を読み取らせる。 ・坂のその後の活動に対する景気となった出来事を読み取らせる。 ・現在完了形の表現を理解し、それを用いて表現させる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークやグループワークにおいて、互いに協力しながら会話を行う。	・ペア・ワークとグループワークを通じて自分の意見を言ったり、相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・積極的に声を出して音読しようと努めている。 ・坂のポリシーや、若者に対応するメッセージを理解しようと努めている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・現在完了形、be +to、If S were to V の表現を理解させ、それを用いて表現する。	・例文を用いて文法事項を学び、それ使った短い英作文を行う。 ・各パートの簡単な要約を行う。	・文法事項を正しく理解し、英作文することができる。 ・本文中に出てきた語法・熟語を使って英文を書くことができる。 ・知りえた情報を英語に直して書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、英作文を出題することにより、単元の目標を達成できているか判断する。 ・作成した要約をクラスで発表する。
		「外国語理解の能力」			
		・音の消失，脱落，連結を認識できる。 ・坂の建築家としてのポリシーを読みとらせる。	・本レッスンの内容についての英問や英文を聴いて，内容を正しく理解する。	・音の消失，脱落，連結を認識できる。 ・時制を的確に把握し、時系列に従って本文の内容を正確に理解できる。	・定期テストの筆記試験において、内容理解を問う出題により、内容理解ができているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・複数名詞の発音、日英の音の違い、音の脱落、カタカナ英語音を理解する。	・桜の植樹までの紆余曲折を読み取ることができる。	・強勢，リズム，イントネーション，区切りなどに注意して音読することができる。 ・紙管の緊急時住宅の建設に関心を持っている。	・言語の使用場面、働きを意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 Artificial Intelligence （7時間）	・人工知能のこれまでの進化を読み取り、将来における進化を推測させる。 ・人工知能が人間に劣っている領域を理解する。 ・完了形分詞構文、未来完了形、仮定法の表現を理解させ、それを用いて表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・人工知能でできることや、人口知能の限界についてグループで話し合い、意見を出し合うことができる。 ・本文から人工知能の応用範囲を読み取ることができる。	・各パートを読む前に、ディスカッションをし、グループで伝え合う。 ・本文の内容を理解し、自分の考えを発表したり、相手の意見を聞いたりすることができる。	・積極的に声を出して意見を言おうと努めている。 ・人工知能の限りない進化を理解しようと努めている。 ・	・グループでの言語活動を観察する。 ・グループワークの成果をクラスで発表する。 ・“Q&A Making”において、内容をどれだけ理解できているかを判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・コンマで切られた文の読み方と、クラス疑問って読むときのルールを理解する。 ・完了形分詞構文、未来完了形、仮定法の表現を理解する。	・音声を何度も聞いて音読し、ペアで1文ずつ読む練習を行う。 ・Comprehension Questionsにおいて、本文の内容についての英語の質問に、英語で答える。 ・完了形分詞構文、未来完了形、仮定法の表現を用いて作文を行う。	・完了形分詞構文、未来完了形、仮定法の表現を理解し、指示に沿った作文をすることができる。 ・適切な位置に区切りを入れながら音読することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・音読テストを実施し、発音や区切り方をどれだけ理解できているか判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・英文の音声を聴いて、大まかな内容を理解する。 ・強勢、リズム、イントネーションなどに注意して読む。	・本レッスンの内容についての英問や英文を聴いて，内容を正しく理解する。	・英文の音声を聴き、大まかな内容を理解することができる。 ・強勢、リズム、イントネーションなどに注意し読むことができる。	・ディクテーションテストの実施により単元の目標を達成できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・完了形分詞構文、未来完了形、仮定法の表現を理解する。 ・人工知能の発達による職業の消失について考える。	・人工知能の発達による職業の消失について、自分の意見を英語でまとめる。	・人工知能・職業の消失などについて関心を持っている。 ・・完了形分詞構文、未来完了形、仮定法の表現を理解する。	・自分の意見をまとめたワークシートを提出させ、目標を達成できているか判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 Sapeur （7時間）	・サプールとしての生き方を読み取らせる。 ・サプールの誕生の歴史的経緯を理解させる。 ・独立分詞構文、倒置、完了形の分詞構文の受け身の表現を理解し、それを用いて表現させる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・他国の珍しい文化について話し合う。 ・本文からサプールについて読み取る。	・各パートの内容に対する感想や意見をまとめ、自分の考えを言ったり、相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力をし合いながら、会話を続ける	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・独立分詞構文、倒置、完了形の分詞構文の受け身の表現を理解し、それを用いて表現させる。	・独立分詞構文、倒置、完了形の分詞構文の受け身の表現を理解し英文を書く。	・独立分詞構文、倒置、完了形の分詞構文の受け身の表現を理解し、指示に沿った適切な英文を書く。	・自分の意見をまとめたワークシートを提出させ、目標を達成できているか判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・強勢，リズム，イントネーション，区切りなどに注意して音読することができる。 ・母音，無音，アクセント，強弱，抑揚を意識して音読することができる。	・各パートに、関連した画像などを見ながら、イメージとともにその内容を理解する。	・強勢，リズム，イントネーション，区切りなどを認識できる。 ・時制を的確に把握し、時系列に従って本文の内容を正確に理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・独立分詞構文、倒置、完了形の分詞構文の受け身の表現について理解する。	・サプールという文化に関心を持ち、自分の言葉でまとめることができる。	・独立分詞構文、倒置、完了形の分詞構文の受け身の表現を理解している。	・言語の使用場面を意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 （7時間）	・グーグル誕生逸話を読み取らせる。 ・グーグル誕生のきっかけとなったプロ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・グーグルがいつ誰に考案されたかを読み取る。 ・グーグルのサーチエンジンとしての機	・各パートについて自分の考えや意見についてまとめペアで伝え合う。 ・グーグルについて	・ペアで互いに協力をし合いながら、会話を続ける。 ・グーグルが変えたものを読み取ろう	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料とし

	グラムについて読み取らせる。 ・年号・年代、綴り字で始まる語などの読み方について理解させる。	能を理解する。	知っていることをグループで話し合う。	と努める。	て活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・本文中の表現を他の表現で言い換え、写真・イラスト等を英語で説明する。	・内容についての英問に対して英語で答えを書くことや，知り得た情報を英語で書く。	・年号・年代、綴り字で始まる語などの読み方について理解すうことができる。	・言語の使用場面を意識した定期テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・英語が話される際の特徴である「音の連結」にういて学習し、発音する。	・各パートの本文からすぐに大意を理解し、英語要約をする。	・時制を的確に把握し，時系列に従って本文の内容を正確に理解できる。	・筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		All you have to do is～を用いて，適切な英文を書く。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・突拍子のない考え方に関心を持っている。 ・All you have to do is / manage to do / what if / be aware that の表現を理解し、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、英作文を出題することにより、単元の目標を達成できているか判断する。